

# 第 62 回東京馬術大会

THE 62nd TOKYO EQUESTRIAN GAMES

CDI\*\*\* TOKYO 2016

## ご協賛趣意書



2016年 7 月

主催：公益社団法人 東京乗馬倶楽部

運営：「東京馬術大会 CDI\*\*\*」組織委員会



馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

## 第62回東京馬術大会

### —ごあいさつ—

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より馬術ならびに馬事普及に、格別のご理解とご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。

#### ●はじめに



第4回国民体育大会の様子  
(於: 東京乗馬倶楽部)

本大会の運営を主管します『公益社団法人東京乗馬倶楽部』は、我が国の馬術の発展と育成を願い、1921年3月に官民合同の倶楽部として設立されました。

以来、95年におよぶその歴史においては、関東大震災や戦中戦後の社会の混乱にもまれ、多難な時代もございましたが、幸いなことに皆様の多大なご尽力とご協力を頂戴することにより、第4回国民体育大会(1949年)をはじめとする数々の馬術大会の開催に加え、国民体育大会や全日本選手権大会といった主要馬術競技に当倶楽部会員が出場、活躍いたしました。

さらに、世界選手権やローマ、東京、メキシコ、ソウル、北京のオリンピック大会にも選手及び監督を輩出し、わが国の馬術振興に今日まで多大な貢献をし、存在感を示してまいりました。また、2013年4月からは、「公益社団法人」としての認定を頂戴しまして、馬事普及に寄与する本大会の運営には、これまで以上に力を入れている所でございます。

#### ●東京馬術大会とは

この『東京馬術大会』は、国内で最も長い歴史を誇る馬術競技会の一つとして愛好家にはその名を広く知られているものです。

昭和26年の大会では、当時の皇太子明仁親王殿下が、中障害飛越競技に峯雪号にてご出場されるなど、皇室とも所縁が深く、近年では第50回大会(2004年)に、秋篠宮文仁親王同妃両殿下にお成りを戴くなど、宮様のご台臨を重ねて頂戴しております。

第51回大会(2005年)からは、国際馬術連盟(FEI)公認の競技会としてCDI\*\*\* (シーディーアイ・スリースターズ)の併催することで、オリンピックや世界選手権に次ぐ開催基準を満たし、日本に居ながらにして、FEI国際審判員による世界基準の採点にふれる貴重な機会として、我が国のトップ選手の世界に向けた活躍を応援してまいりました。

また、第56回大会(2010年)からは、身体の不自由な方の馬場馬術競技である「パラ馬術」も競技に組み入れ、ハンディキャップをお持ちでも馬術を愛される選手が等しく競技会を楽しめるよう、国内でも先駆けとなる取り組みを行っております。

第62回となる今回も、本大会ならではの多様な競技種目が円滑に運営できるよう、鋭意準備を進めているところであります。



前回大会の様子

※ CDI とは、Concours de Dressage Internationale (国際馬場馬術大会) の略称であり、それに続く\*\*\*は開催レベルを表します。



馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

## 第62回東京馬術大会

### ●日本馬術界の発展をめざして

大会会場には、世田谷区にあります「JRA 馬事公苑」を例年お借りし開催しております。

この施設は、日本中央競馬会（JRA）様が運営する馬事普及の拠点施設であり、1964（昭和39）年の東京オリンピックにおいては馬場馬術競技の会場になった施設です。そしていよいよ4年後に迫ってまいりました2020年東京オリンピックにおいても、再び馬術競技会場になることが決定しており、今回はそのための改修工事前の馬事公苑で開催する最後の機会となりました。

馬事公苑・メインアリーナの様子



我が国の馬術にとって大変意義深く、幾多の馬術愛好家が格別な思いを寄せるこの会場において、国内トップクラスの選手が出場する CDI \*\*\*競技からビギナーや子供達向けの部班競技、さらには体の不自由な方のためのパラ馬術までも併催する本大会は、今後の我が国の馬術界の発展に重要な役割を担っていくことが期待されております。

本大会がより大きな成功を収めますために、本趣旨をご賢察いただきまして一層のご支援とご協力を賜りたく心よりお願いを申し上げます。

敬 具

2016年7月吉日

公益社団法人 東京乗馬倶楽部

会 長 原 昌 三

国際審判員・大会役員の皆様と（前列左から3番目）



馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

THE 62<sup>nd</sup> TOKYO EQUESTRIAN GAMES



馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

## 第62回東京馬術大会

### — 本大会のコンセプト —

オリンピックで行われる種目において唯一、人と動物とが共に行う競技である“馬術。”国内トップクラスの人馬が参加し、華麗な演技が期待される CDI 競技から、ビギナーの子供たちが日頃の練習の成果を競い合う部班競技、そして体の不自由な方のパラ馬術まで。東京馬術大会ならではの幅広い種目構成で、あこがれのスポーツである「馬場馬術」の世界を、2020年東京オリンピックに向けた改修前の最後の姿となる「JRA馬事公苑」において多くの皆様にご披露できたらと考えております。

**馬術愛好家にその名を知られる歴史ある馬術大会**

**エキスパートからビギナーまで、参加者数は国内最大規模**

**国際審判員の起用により選手の国際的活躍を応援する**

**2020年東京オリンピックに向け、馬術界の発展をめざす**

### — 第62回大会開催概要（予定） —

- <日 程> 2016（平成28）年10月21日（金）・22日（土）・23日（日） 3日間
- <予定会場> 日本中央競馬会 馬事公苑  
住 所：東京都世田谷区上用賀 2-1-1  
交 通：小田急小田原線経堂駅より徒歩 20 分  
東急田園都市線桜新町駅、用賀駅より各徒歩 15 分
- <主 催> 公益社団法人 東京乗馬倶楽部
- <運 営> 「東京馬術大会 CDI \*\*\*」組織委員会
- <後 援> 東 京 都（申請中）
- <公 認> 日本馬術連盟（JEF）・国際馬術連盟（FEI）
- <予定競技> FEI グランプリ、FEI グランプリスペシャル、FEI インターメディエイト I、FEI 自由演技グランプリ、FEI 自由演技インターメディエイト I、FEI セントジョージ、FEI ヤングライダー、JEF S1 課目、JEF S2 課目、JEF M1 課目、JEF M2 課目、JEF L1 課目、JEF L2 課目、JEF A3 課目、JEF A2 課目、パラ馬術競技（ノービステスト・チームテスト）、部班競技（速歩班・駈歩班） ※CDI 競技併催予定・全競技屋外での実施。
- <来場見込> 約 9, 0 0 0 人



## — ご協賛内容のご案内 —

### I. プログラム広告

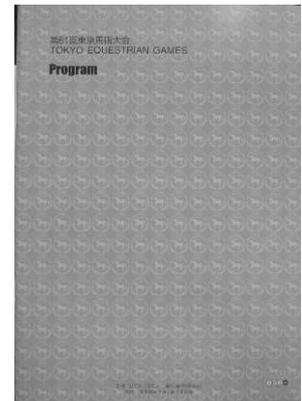
大会プログラムに御社広告を掲載いたします。

※様式・サイズ等につきましては別紙よりお選びください。

※大会にご協賛いただける場合には、全てプログラム広告をお願いしております。

- 前回（第61回）のプログラム仕様
  - A4サイズ（一部カラー） 64 ページ
  - 1000 部製作

（プログラム表紙の様子）



### II. 競技スポンサー

競技種目に「(御社名や御社扱いの商品名 等) 杯」という形で冠名をつけていただき、入賞者に賞金・賞品などの形でご協賛いただきます。

スポンサードしていただいた場合は、実施要項、大会プログラム等に冠名が印字され、大会当日には競技場内放送に反映いたします。加えて、表彰式の際には入賞者へのプレゼンターもお願いし、ご紹介をさせていただく予定です。

■前回（第61回）大会での冠名と対象競技表彰の様子



冠 名	対 象 競 技
三笠宮杯・リヤドロ杯	FEI グランプリ馬場馬術課目
ピアッフェ杯	FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目
ホワイ杯	JEF 馬場馬術競技 L1 課目
クィーンズスクエア・テルマ杯	JEF 馬場馬術競技 M2 課目
三越杯	JEF 馬場馬術競技 L2 課目
プラド杯	JEF 馬場馬術競技 A3 課目



※表彰式は、メインアリーナ正面の「ウィナーズサークル」（屋外）にて行いますが、10月22日（土）実施競技の一部は、屋内の懇親会場にて行います。



馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

## 第 62 回東京馬術大会

### ◎懇親会演出

大会二日目となる 10 月 24 日（土）の夕方に、JRA 馬事公苑「講堂」にて開催する「懇親会」において、御社取扱商品などを用いた演出等が可能です。ご来賓、大会役員、選手、参加団体関係者などが 150 名以上参加する他、ご協賛をいただいた皆様もご招待いたします。

なお、この日に実施する一部競技の表彰も懇親会にて実施予定です。

### ■懇親会会場の様子（第 61 回）



### 【過去の演出事例】



※この他、参加団体への資料等の配布など、各種ご要望につきましては直接ご相談させていただきます。



馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

## 第 62 回東京馬術大会

### Ⅲ. ブース出店

競技会場周辺にブース出店をしていただき、展示・販売をしていただきます。  
ご出店の場合には大会プログラムへの広告掲載をお願いしております。



※ 大会事務局で手配するテント（1.5間×2件）や発電機を使用される場合は、手配料としてそれぞれ実費相当分を別途頂戴いたします。

### Ⅳ. その他

これらの他、御社にてご協力いただけることがございましたら事務局までお問い合わせください。

#### ●お申込・お問い合わせ先

「東京馬術大会 CDI\*\*\*」組織委員会事務局

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 4-8 公益社団法人東京乗馬倶楽部内

TEL : 03-3370-0984

FAX : 03-3370-2714

E-mail : cdi@tokyo-rc.or.jp

Web : <http://www.tokyo-rc.or.jp>



馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

## 第 62 回東京馬術大会

### 【プログラム広告について】

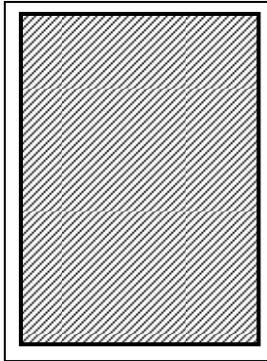
《入稿について》 入稿最終締切日：平成28年 9月 6日（火）

- 完成済原稿については、可能ならばイラストレータ（CS3以下はすべて可）で文字はアウトラインしたデータでの入稿をお願いいたします。
- イラストレータをお持ちでない場合は、各種ソフトでできる範囲にて作業をしていただき、画像等（サイズ：300dpi以上）の広告素材を提出してください。
- 原稿作成に対応できない場合は、その都度御相談いたします。

入稿アドレス [cdi@tokyo-rc.or.jp](mailto:cdi@tokyo-rc.or.jp)

### 《広告サイズと料金》

●A4 フチあり（※265mm.×170mm.）



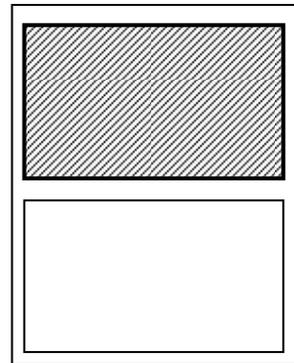
カラー（裏表紙） 500,000 円

カラー（中 頁） 300,000 円

白 黒 100,000 円

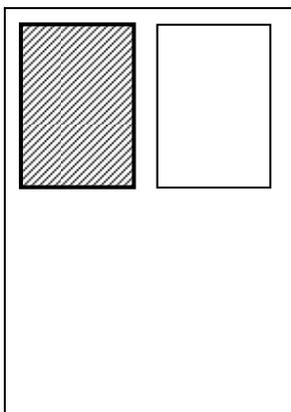
※余白なし（297mm×210mm）での作成と  
カラー原稿についてはご相談ください。

●A4 横 1/2 頁（130mm.×170mm.）



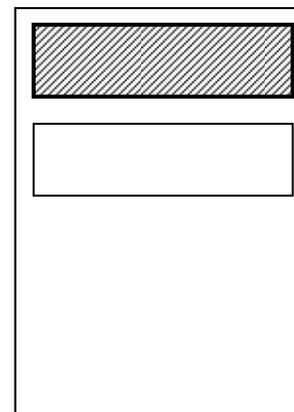
白 黒 60,000 円

●A4 縦 1/4 頁（130mm.×80mm.）



白 黒 30,000 円

●A4 横 1/4 頁（60mm.×170mm.）



白 黒 30,000 円